

信用格付を付与するために用いる方法の概要（保険）

フィッチ・レーティングス（フィッチ）による保険会社の格付基準は、保険会社ならびにその発行債務および保険契約者に対する債務の格付にあたって、フィッチが考慮する格付要素を説明するものである。末尾記載の格付基準レポートは、フィッチによる保険会社格付に適用される一般的原則を示している。

同レポートで示されるガイドラインの範囲は意図的に広がっているが、これはフィッチの分析プロセスが動的であり、また、範囲を狭めた、または過度に厳格な手法では発行体ごとの独自の特性が捕捉しきれないためである。

保険会社の分析にフィッチが用いる主要要素は次のとおりである。

- 業界特性と事業環境
- 企業特性
- 資本基盤とレバレッジ
- 収益力
- 資産運用に関するリスク
- 資産負債総合管理と流動性リスク管理
- 支払備金積立の妥当性
- 再保険、リスク軽減方法及び大規模災害リスク

フィッチは、主な格付決定要因（KRD）に所定のウェイトを適用したインプライド保険会社財務（IFS）格付を算出する。インプライド IFS 格付を算出するにあたり、フィッチは定性的要因（すなわち「企業特性」の KRD）に 30%、定量的要因に 70%のウェイトを適用する。定量的要因のうち、「資本基盤とレバレッジ」に対して 35%と最も高いウェイトを適用する。インプライド IFS 格付に、格付委員会による上方向又は下方向の調整が加えられ、最終的な IFS 格付が決定される。これらの調整により、他の KRD には十分に反映されない企業特性や事業環境の側面を反映させることができる。また、インプライド IFS 格付は、財務面の検討要因における最大の弱点に対して下方向の調整を加えられる場合がある。

個別の格付または格付アクションの各々において、この基準上の格付要素のすべてが必ずしも適用されない場合がある。個別の格付アクション・コメンタリーまたは格付レポートでは、個別の格付アクションに最も関連する要素について論じられる。

本格付方法の詳細については、「Insurance Rating Criteria」（2026年5月29日付格付基準レポート）をご覧ください。